

[1]

問1 (1) 14時間30分

- (2) 日照時間の長い夏季に時刻を1時間程度進める制度で、ヨーロッパなどの高緯度地方の国で採用されている。日中の時間を有効に活用でき、余暇を充実させたり、エネルギー消費を節減できる一方で、生活リズムの乱れによって体調を崩したり、コンピュータなどの時刻の調整に労力やコストがかかるといった問題もみられる。
(147字)

問2 放射状に延びる主要航空路線と地方航空路線を中継する地域内の拠点空港で、輸送量が多い主要路線に路線網を集約化することで旅客や貨物の効率的な輸送が可能となる。(77字)

問3 ドイツとA群はシェンゲン協定の締結国で出入国審査が廃止されているため、パスポートを提示する必要がないが、B群はシェンゲン協定の非締結国であるため、出国の際にパスポートを提示して手続きを行う必要がある。(100字)

問4 従来は東京とフランクフルト間の大圏航路に沿って飛行していたが、2022年のロシアによるウクライナ侵攻を契機にロシアとの関係が悪化したため、ロシア上空を避けて北極海方面に迂回する経路へと変更された。(96字)

[2]

問1 平野部では、河川の中流から下流の三角州地帯を中心に高温と夏のモンスーンによる降雨を利用した水田稲作が行われてきた。山間部では、傾斜地における棚田での稲作のほか、山地や丘陵の熱帯林地帯で焼畑農業によるイモ類や陸稲の自給的な栽培が行われてきた。(120字)

問2 A カンボジア B ベトナム C インドネシア D タイ

問3 第二次世界大戦後、東南アジアでは輸入代替型から輸出指向型の工業化へと移行し、工業化が大きく進展した。工業発展の初期段階では労働集約的な衣類品生産が発達するが、早くから工業化が進展したタイなどでは機械工業が中心となり、衣類品生産が占める割合は低下した。一方、工業化が遅れたベトナムやカンボジアでは、安価で豊富な労働力を背景に衣類品生産が発達しているが、次第に付加価値の高い工業に移行しつつある。(196字)

問4 経済機能が集積するジャワ島のジャカルタでは、人口の一極集中が激しく、安定した仕事に就けない貧困層が増加してインフラなどが未整備で居住環境の劣悪なスラムが発生したり、交通渋滞や大気汚染、地下水の過剰な汲み上げによる地盤沈下が生じたりするなど都市問題が深刻化している。そうした都市問題の解決と地域格差の是正を目指し、首都機能の移転が計画された。(170字)